

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 20 年 7 月 11 日 提出]

No.	80									
基本方針	5 組織・機構の見直し					担当課名	総務課(行政班)			
重点項目	1 組織機構のあり方の検討									
取組項目	67 組織のフラット化・グループ制の検討									
経過・現状 (H17.4.1現在)	合併時における旧町の職制等も含めて、本庁各課・各支所において、意志決定までの迅速化が図れていない面があり、組織・機構の見直しとあわせて組織のフラット化やグループ制の検討が必要である。									
推進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 20 年度			
	調査		検討	実施	-					
実績評価	A	C	A	-	-	達成年次	平成 - 年度			
	計画どおり	計画縮小	計画どおり	-	-					
行動概要	目標	簡素な組織体制の確立と意志決定の迅速化を図るための、組織のフラット化・グループ制導入の検討								
	期待される効果	意志決定の迅速化による行政運営(住民サービス・組織的課題への対応)								
	必要性 問題点	意志決定の迅速化に取り組むとともに、将来的な職員数を考慮して、簡素で効率的な行政運営を検討する必要がある。								
	対象	全庁・全職員								
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)			
		17年度 (実績)	・全体的な組織及び機構の見直しとあわせて検討を行った。				目標 数値			
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)		
	18年度 (実績)	・H18年6月の組織、機構改革を踏まえて、将来に向けたより迅速な意志決定ができるよう、組織のフラット化、グループ制の調査及び研究を行う予定であったが、時期尚早と判断し、次年度に調査及び研究を行うこととした。				目標 数値				
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)		
	19年度 (実績)	・昨年に引き続き班長制度の導入により組織のフラット化が定着し、意思決定の迅速化及び情報の共有が図られた。 ・グループ制については各種プロジェクトチームが横断的な役割を果たしており、一定の成果が得られている。				目標 数値				
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)			
20年度	・班長制度、プロジェクト会議の継続実施。				目標 数値					
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)			
21年度					目標 数値					
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)			
関係例規等	名称					改正時期				